

平成26年度 阿南中学校「学力向上実行プラン」

2 学力・学習状況における現状分析，目標等

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況		
よ さ	多くの生徒は学習に対して意欲的で、音読や、発表など表現することを好み、方法や手順がわかる学習にはまじめに取り組む。	課題 基礎的・基本的な内容が定着していない生徒が多い。また、自分の課題や目的に応じて、聞いたり、まとめたりする力や、筋道をたてて説明をする力に課題がある。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
朝自習や授業を大切にし、各教科の基礎的、基本的な内容の習得に意欲的に取り組むことができる。	毎月実施する全教科確認テストの正答率を80%以上にする。	----- 評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
①「家庭学習の手引き」を活用し、生徒の家庭での学習の定着を図る。 ②朝自習の時間に全教科確認テスト(10問テスト)を行う。 ③長期休業中の補充学習(質問教室)を行う。 ----- *中間期の見直し 朝自習の時間の確認テストについては、各教科の時間に小テストとして実施。テスト前には、範囲の内容を小テストにして、朝自習や学活で実施。	①家庭学習を「毎日1時間以上している」を50%以上にし、「全くしない」を0%にする。 ②毎月2回実施。 ③長期休業中に3～5日実施。	
達成状況を踏まえた改善事項		

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況		
よ さ	授業中の発表には意欲的に取り組んでいる生徒が多い。	課題 自分の課題や目的に応じて聞き取ったり、まとめたりする力、必要な情報を選択し、筋道を立てて説明することが苦手である。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況

読む・書く・発表する活動に意欲的に取り組み、自分の考えをまとめたり、人に伝えたりできる。	「学習した内容をまとめたり、人に伝えたりできる」の「できる」を70%にする。	評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
①読書週間の設定。 ②授業力向上の研修を行う。 *中間期の見直し 定期的に放課後、図書室にて貸出を行う。	①2か月に1度、朝自習を読書タイムにする。 ②自分の教科外の校内授業参観を実施。 ③「授業が楽しくよくわかる」生徒を80%以上にする。	
達成状況を踏まえた改善事項		

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況		
よさ	自主学習ノート「がんばりノート」が定着しつつあり、家庭学習率にも上昇がみられた。また、授業の準備物を用意し、チャイム着席をする習慣もほぼ確立している。	課題 「がんばりノート」の使用が形式化・非効率化し、必ずしも学力向上に直結していない状況が生まれている。一部、時間を守れない者や、忘れ物が多い者もいる。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
「がんばりノート」を自主学習や家庭学習に積極的に活用し、学習習慣を身に付け、自分の学習方法の確立ができる。 チャイム着席や、授業の準備物を確実に用意することができる。	①「がんばりノート」の活用率90%を目指す。 ②「チャイム着席ができて」「授業の準備物を忘れないようにする」を90%以上にする。	評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
①「がんばりノート」コンテストを実施。 ②「チャイム着席」ができるように指導する。 *中間期の見直し クラスや学年で、よくまとまっているノートを掲示し参考にさせる。	①学期ごとに表彰し、ノートマスターの称号を贈る。 ②「チャイムとともに授業が始められるように工夫している」を100%にする。	

達成状況を踏まえた改善事項